

第8期妙高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の評価・分析について (令和5年度実績)

1 高齢者人口の推計

令和5年の総人口及び、65歳以上人口、75歳以上人口は計画値と同程度で推移をしています。今後、計画値と同程度で推移した場合、総人口は年々減少していきますが、75歳以上人口は年々増加し、団塊の世代が全員75歳を迎える令和7年では、現状より約230人多くなると推測しています。

(単位：人)

	計画値			実績値			参考
	令和3年	令和4年	令和5年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 3月31日
総人口	30,945	30,424	29,910	30,919	30,338	29,869	29,671
65歳以上人口	11,366	11,277	11,176	11,437	11,336	11,252	11,216
率	36.7%	37.1%	37.4%	37.0%	37.4%	37.7%	37.8%
75歳以上人口	6,076	6,155	6,270	6,096	6,166	6,305	6,356
率	19.6%	20.2%	21.0%	19.7%	20.3%	21.1%	21.4%

(各年10月1日現在)

2 要援護世帯の推移

全世帯数に占める要援護世帯数の割合については年々増加傾向にあり、今後も高齢化の進展に伴い、増加していくものと推測しています。

(単位：上段 世帯数、下段 全世帯に占める割合)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全世帯数	12,249	12,361	12,358	12,320	12,392
要援護世帯	4,005	4,006	4,211	4,205	4,283
	32.7%	32.4%	34.1%	34.1%	34.6%
	ひとり暮らし	2,304	2,370	2,370	2,361
	高齢者世帯	18.8%	19.2%	19.2%	19.2%
	高齢者のみ世帯	1,701	1,636	1,841	1,844
	13.9%	13.2%	14.9%	15.0%	15.3%

(各年度末現在：保険と福祉より)

3 第1号被保険者の推計

令和5年の第1号被保険者数（65歳以上の被保険者数）は、計画値とほぼ同程度で推移しております。

人口同様に、計画値と同程度で推移した場合、今後、前期高齢者（65～74歳）数は減少し、後期高齢者（75歳以上）数は増加していくものと推測しています。

（単位：人）

	計画値			実績値			参考
	令和3年	令和4年	令和5年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 3月31日
第1号被保険者	11,316	11,234	11,140	11,367	11,254	11,197	11,161
前期高齢者 (65～74歳)	5,286	5,116	4,902	5,328	5,118	4,942	4,855
率	46.7%	45.5%	44.0%	46.9%	45.5%	44.1%	43.5%
後期高齢者 (75歳以上)	6,030	6,118	6,238	6,039	6,136	6,255	6,306
率	53.3%	54.5%	56.0%	53.1%	54.5%	55.9%	56.5%

（介護月報より 各年10月1日現在）

4 要介護認定者の推計

令和5年の要介護認定者数は、計画値に対して▲127人と下回って推移しています。

認定区分別の内訳では、特に要支援2、要介護3及び要介護5の認定者数が計画値に対して低くなっていますが、それ以外の介護度では、計画値と同程度で推移をしています。

今後、計画値と同程度で推移した場合、団塊の世代が全員75歳を迎える令和7年における第1号被保険者の認定者数は2,166人であり、団塊の世代ジュニアと呼ばれる世代が全員65歳以上となる令和22年では2,276人が見込まれており、今後も介護ニーズは継続されるものと推測しています。

（単位：人）

	計画値(単位：人)			実績値(単位：人)			参考
	令和3年	令和4年	令和5年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年 3月31日
第1号被保険者(a)	11,316	11,234	11,140	11,367	11,254	11,197	11,161
要介護認定者	2,317	2,336	2,341	2,247	2,193	2,214	2,155
要支援1	157	155	157	153	141	148	145
要支援2	333	333	332	290	302	293	308
要介護1	483	486	486	466	472	462	463
要介護2	473	478	481	479	454	479	456
要介護3	309	315	315	320	311	291	273
要介護4	296	300	302	294	293	317	305
要介護5	266	269	268	245	220	224	205
第1号要介護認定者数(b)	2,277	2,296	2,301	2,200	2,148	2,163	2,113
認定率(b/a)	20.1%	20.4%	20.7%	19.4%	19.1%	19.3%	18.9%

（介護月報より 各年10月1日現在）

5 認知症高齢者の推移

要介護認定者のうち、認知症高齢者及び軽度認知症高齢者の人数は、要介護認定者の減少と同様に減少傾向となっています。なお、要介護認定者数に占める割合は88.0%であり、若干の変動はありますが横ばい傾向で推移をしています。

	認知症高齢者 (※1)	軽度認知症高齢者 (※2)	要介護認定者に 占める割合
令和 2 年 3 月 31 日	1,582 人	451 人	87.6%
令和 3 年 3 月 31 日	1,536 人	421 人	87.6%
令和 4 年 3 月 31 日	1,474 人	472 人	88.1%
令和 5 年 3 月 31 日	1,430 人	462 人	85.6%
令和 6 年 3 月 31 日	1,449 人	449 人	88.0%

※1 認知症高齢者 … 主治医意見書中「認知症高齢者の日常生活自立度」ランクがⅡ以上のかた

※2 軽度認知症高齢者 … 主治医意見書中「認知症高齢者の日常生活自立度」ランクがⅠのかた

〔認知症高齢者の日常生活自立度〕

ランク	判断基準
Ⅰ	何らかの認知症状を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅲ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
Ⅳ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
Ⅴ	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

第4章 施策の展開

基本方針1 介護予防と生きがいづくり、社会参加の推進

施策2 介護予防の推進

1 介護予防・元気づくりの推進（一般介護予防事業）

【評価】

- ・70歳、75歳、80歳、85歳を対象とした健康状態を把握する調査（郵送）を実施しました。調査の結果、全体では例年から大きな変化は見られませんでした。年齢別では、75歳の総合該当者および運動該当者の割合が減少していました。また、基本チェックリストの総合・栄養・閉じこもり該当者及び、過去の調査から継続して訪問を行うことが望ましいかたへの訪問を実施し、状態把握および介護予防に向け支援を行いました。
- ・訪問対象外となったかたにも、結果送付時に各項目に対する取組を提案したチラシを同封し、結果、短期集中型サービスに10名のかたをつなげることができました。
- ・地域の茶の間の実態を把握するための調査を行い、調査結果から実施数は昨年と同程度でしたが、茶の間主催者の高齢化や、茶の間の担い手不足による主催者の負担増大等の課題が見えてきました。

【課題】

- ・高齢者を取り巻く社会情勢や、高齢者自身のライフスタイルや価値観等が多様化する中、時代に適した地域活動のあり方を検討し、地域活動の再開や地域づくり・つながりづくりを進める必要があります。

【令和6年度の対応】

- ・郵送調査を継続して実施することで、虚弱高齢者の早期発見・支援に繋がります。
- ・各種講座や教室を行い、介護予防に努めていただくとともに、介護予防活動を発信できる人材を育成し、将来を見据えた人材・地域づくりを継続します。
- ・地域共生課や健康保険課と連携を図り、地域の茶の間の活動の継続支援を行います。
- ・生活支援体制整備事業と連動し、居場所づくりを検討します。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本チェックリスト回収率	75%以上	75%以上	75%以上
地域の茶の間実施数	35 地区	36 地区	37 地区

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本チェックリスト回収率	88.6%	90.5%	85.8%
地域の茶の間実施数	35 地区	22 地区	21 地区

2 介護予防・生活支援サービス事業

【評価】

- ・訪問型サービス、通所型サービス利用者の改善・維持率は、昨年度より上昇しましたが、長期利用者の中で要介護認定を受けるかたが増えたため、目標達成率を下回りました。
- ・介護予防の拠点となる、通所型サービスC(筋力向上型・短期集中型)は、窓口での相談(利用勧奨)や主治医からの紹介により参加者が増加しています。
- ・通所型サービスC修了時の担当者会議にて、状態に合わせた行き先を提案することにより、新井地域では自主トレーニング教室等への移行者が増加したことから、そこへ移動するために、移動支援サービスの利用者も増加しました。

【課題】

- ・社会構造の変化に伴い生活習慣や価値観が多様化する中、従来の介護保険制度にとらわれず、状態に合わせた多様なサービスが利用できるようにする必要があります。
- ・重症化予防が期待できる通所型サービスCについて、早い段階から利用につなげるため、様々な機会周知をおこなう必要があります。
- ・通所型サービスC修了後、自主トレーニングなどを促していますが、どの地域も修了後の受け入れ場所が少ないため、状態が戻ることがないように、卒業後の生活を見据えて目標を明確にするとともに、活躍できる場づくりを行う必要があります。

【令和6年度の対応】

- ・介護予防把握事業において虚弱高齢者を把握するとともに、通所型サービスCの利用を促し介護予防に努めます。
- ・サービス利用開始時に、卒業後を見据えた目標設定や意識付けを行うとともに、卒業後に活躍できる場について、庁内関係課と連携・協議し、介護予防や生活支援、社会参加の事業を連動させた取り組みを実施します。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業対象者の維持・改善率	97.5%以上	97.5%以上	97.5%以上

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業対象者の維持・改善率	95.2%	93.2%	95.5%

施策3 生きがいづくりと社会参加の推進

1 高齢者の就労支援

【評価】

- ・シルバー人材センターは、定年退職した高齢者が就業することにより、自身の健康づくりや生きがいづくり、地域社会への貢献など多角的な活躍の場であると同時に、高齢者本人にとっても仲間や地域とのつながりを持つ場となっています。
- ・新規入会者は横ばい傾向ですが、病気等を理由とする退会者も一定数おり、全体の登録者数は横ばいとなっています。ゴールド会員制度やシルバーショップ、シルバー農園などに取り組み、「就業プラスアルファ」の活動を展開することでシルバー人材センターのイメージアップと魅力向上に努め、新規会員の増加に向けた方策を行いました。

【課題】

- ・幅広い就業機会を確保するとともに、女性会員の増加に向け、特性を活かした新規事業分野の開拓を行う必要があります。
- ・会員数の不足により、草刈りや剪定、冬囲い等の依頼に十分な対応ができていない状況です。また、介護予防・日常生活支援、福祉・家事援助サービス、空き家管理に対するニーズの高まりへの対応も求められています。

【令和6年度の対応】

- ・働き手が「したい仕事」や「出来る仕事」を発信し、社会のニーズとのマッチングを進めます。
- ・広報活動や、女性会員拡大に向けた事業等を実施することにより人員確保に努めるとともに、働く場を拡大するため、多様なニーズに対応できるよう人材育成等に努めます。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
シルバー人材センター会員数	380人	385人	390人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
シルバー人材センター会員数	367人	354人	353人

2 高齢者の多様な活動の支援

【評価】

- ・高齢者が生きがいや地域で役割をもって、生活し続けられるよう、高齢者生産活動センターや妙高市老人クラブ連合会等への支援を行いました。

【課題】

- ・高齢者の就労機会の増加や、ライフスタイルが多様化する中、老人クラブ連合会の会員数は減少しています。また、高齢者生産活動センターの活動についても新たな活動の展開や、会員数の増加に向けた周知等を行う必要があります。

【令和 6 年度の対応】

- ・会員数は減少していますが、高齢者生産活動センターや妙高市老人クラブ連合会の活動は、高齢者の生きがいに寄与していることから、引き続き支援を行うとともに、各団体において活動の魅力向上に努めてもらうよう働きかけます。

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
老人クラブ連合会 加入クラブ数	20 クラブ	20 クラブ	20 クラブ
老人クラブ 会員数	1,850 人	1,850 人	1,850 人
高齢者生産活動センター利用者数	2,500 人	2,500 人	2,500 人

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
老人クラブ連合会 加入クラブ数	20 クラブ	20 クラブ	19 クラブ
老人クラブ 会員数	1,469 人	1,337 人	1,206 人
高齢者生産活動センター利用者数	2,550 人	2,717 人	2,968 人

3 生きがいくりと生涯学習の支援

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
老人福祉センター設置個所数	1 か所	1 か所	1 か所
生涯学習講座「まなびの杜」の受講者数（延べ人数）	1,330 人	1,490 人	1,650 人
地域活動人材登録者数	355 人	370 人	385 人

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
老人福祉センター設置個所数	1 か所	1 か所	1 か所
生涯学習講座「まなびの杜」の受講者数（延べ人数）	145 人	681 人	294 人
地域活動人材登録者数	244 人	300 人	402 人

基本方針 2 高齢者が安心して生活できる体制づくり

施策 1 生活支援体制の充実

1 住民主体の生活支援体制整備

【評価】

- ・すでに生活支援コーディネーターが配置されている妙高地域では、地域課題を話し合うための協議体が設置されており、把握した課題の解決に向けた取り組みについて検討をしました。
- ・新井地域と妙高高原地域は、生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置に向けて、地域づくりの関係課と地域への介入方法について検討するとともに、地域住民へのきっかけづくりとなる研修や意見交換会等を行いました。

【課題】

- ・地域課題を検討する協議体の設置及び、地域の調整役となる生活支援コーディネーターの配置は、妙高地域のみとなっています。
- ・新井地域は地域が広く、中山間部と市街地では異なる課題を抱えています。そのため、地域を分けて考える必要があります。
- ・妙高高原地域は、意見交換会の中で地域の課題や資源について確認をしましたが、協議体の設置には至りませんでした。

【令和 6 年度の対応】

- ・新井地域は地域が広いことから、いくつかのブロックに分け、令和 6 年度は 2 ブロックに介入します。
- ・妙高高原地域は、昨年度の意見交換会で把握した地域課題に対し、解決に向けた話し合いができるよう、社会福祉協議会と連携し働きかけます。
- ・妙高地域は、昨年度実施した移動支援のアンケート結果から、生活支援コーディネーターを中心に、通院や買い物の移動支援及び、地域の助け合いの支援を一体的に取り組めます。また、地域住民が気軽に集える場を創設するため、e スポーツによる認知症予防等の取組を進めます。

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
地域課題の解決を検討している地区数	6 地区	8 地区	9 地区

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
地域課題の解決を検討している地区数	4 地区	1 地区	2 地区

2 地域ケア会議の推進

【評価】

- ・介護予防に資する個別地域ケア会議を実施し、介護支援専門員が通常の支援では連携することがあまりない理学療法士や栄養士など専門職にアドバイザーとして出席いただき意見を伺うことで、新たな気づきにつなげケアマネジメントの質の向上を図りました。
- ・妙高高原地域では日常生活圏域地域ケア会議を初めて実施しました。
- ・新井地域では、地域ケア会議だけでなく、生活支援体制整備事業と連動して進める必要があります。

【課題】

- ・今後も個別地域ケア会議を積み重ね、介護支援専門員の資質向上を図る必要があります。
- ・個別地域ケア会議の積み重ねから地域課題を把握するとともに、検討した事例から総合事業や生活支援体制整備事業などへつなげる必要があります。

【令和6年度の対応】

- ・多くのかたに共通した課題でかつ軽微なケースの検討を引き続き行うとともに、個別性の高いケースや近年増加している親族が疎遠で身元引受人の課題があるケース等について、多職種による個別ケア会議を積み重ね、地域の共通課題を把握します。
- ・把握した課題について、介護保険サービスに限定せず、生活支援体制整備事業と連動し、地域資源を発見・開発するための話し合いに発展させます。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個別地域ケア会議の開催回数	5回	5回	5回
日常生活圏域地域ケア会議の開催地区数	2地区	3地区	3地区

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個別地域ケア会議の開催回数	3回	4回	5回
日常生活圏域地域ケア会議の開催地区数	1地区	2地区	2地区

3 地域包括支援センター機能の強化

①総合相談の充実

【評価】

- ・全体の相談件数全体は減少傾向ですが、経済的相談は増加傾向です。高齢者単身及び高齢者のみ世帯が増えているなか、健康や介護の相談のほか、金銭管理方法など、相談内容は多岐にわたっており、解決にあたり多職種との連携が求められています。

【課題】

- ・高齢者をはじめ地域住民が生活の困りごとを気軽に相談できる窓口として、地域包括支援センターのPRを行う必要があります。
- ・複雑多岐にわたる相談が多くなっていることから、関係機関との連携を強化し、適切な支援を行う必要があります。

【令和6年度の対応】

- ・総合相談窓口である地域包括支援センターの更なる周知を行います。
- ・各種研修会の参加や相談支援の実践を通して、職員の相談援助技術の向上を図るとともに、医療機関をはじめ、ケアマネジャーや介護保険事業所、民生委員・児童委員、警察等との連携を深め、早期対応及び継続した支援を行います。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談受付延べ件数	1,500件	1,500件	1,500件

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談受付延べ件数	1,243件	1,163件	1,021件

②包括的・継続的ケアマネジメントの充実

【評価】

- ・みょうこうケアフォーラムは、医療と介護の両方のニーズが高いかたが増えていくことを踏まえ、地域において多職種による、連携や支え合いについて共通認識をもつことができました。
- ・生活を送る上で介護以外の課題を抱えているかたや、介護支援専門員のみでは支援が困難なかたには、地域包括支援センター職員が相談に応じるほか、同行訪問等による側面支援を行いました。

【課題】

- ・単身や高齢者のみ世帯の増加により様々な生活上の課題を抱えているかたが増えていくことが想定されるため、医療、介護、福祉に関わる専門職の連携強化が求められます。

【令和6年度の対応】

- ・高齢化に伴う様々な課題を解決していくには多職種による連携が必要なため、みょうこうケアフォーラムや介護ネットワークの活動を通じて、関係者の資質の向上や更なる連携を図ります。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
みょうこうケアフォーラム開催回数	3回	3回	3回
民生委員・児童委員活動支援実施回数	80回	80回	80回
在宅生活調整実施回数	20回	20回	20回
妙高市介護ネットワーク 居宅介護支援専門員会開催回数	3回	3回	3回
ケアマネジャー支援件数	500回	500回	500回

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
みょうこうケアフォーラム開催回数	2回	2回	2回
民生委員・児童委員活動支援実施回数	66回	66回	66回
在宅生活調整実施回数	44回	37回	40回
妙高市介護ネットワーク 居宅介護支援専門員会開催回数	2回	2回	3回
ケアマネジャー支援件数	351回	339回	322回

③権利擁護の充実

【評価】

- ・高齢者虐待では、新規発生件数は目標値を達成しています。なお、虐待の背景としては、介護負担のみでなく医療や経済面など様々な課題が折り重なっており、関係者と連携して継続的に関わるケースが増えています。
- ・判断能力が低下した高齢者の金銭管理や契約手続きなどの相談では、成年後見制度を説明し実際に利用を希望される場合は、申立の支援を行いました。

【課題】

- ・高齢者虐待は、生活状況や家族の介護負担等を把握した上で、ケアマネジャーや介護サービス事業所、地域の民生委員・児童委員などの関係者と連携することが不可欠であり、引き続き、本人、家族の思いを聞きながら、早期解決や再発防止に努める必要があります。
- ・身寄りがない、又は親族関係が希薄な高齢者が増えており、成年後見制度の利用ニーズが高まることが想定されますが、成年後見人等を受任できる専門職が限られている

ことから、申立てから成年後見人等が選任されるまで時間を要することが増えていきます。

【令和 6 年度の対応】

- ・虐待の防止、早期発見に向けて普及啓発を行うとともに、虐待が発生した場合は、早期解決や再発防止に向け関係者と連携し、定期的な見守りや社会資源の活用により、継続的な支援を行います。
- ・成年後見制度の普及啓発や申立支援を行うとともに、法人後見の受任者数が増えるよう、社会福祉協議会と連携し受任調整を図ります。

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
高齢者虐待・新規の虐待発生件数	5 件以下	5 件以下	5 件以下
成年後見人制度申立支援件数	4 件	5 件	5 件

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
高齢者虐待・新規の虐待発生件数	6 件	2 件	2 件
成年後見人制度申立支援件数	6 件	2 件	5 件

施策 2 在宅医療・介護連携の推進

1 切れ目のない医療・介護サービスの提供体制づくり

【評価】

- ・在宅医療・介護推進の強化を図るため、上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の 4 つの専門部会（入退院時連携推進部会、対人支援スキルアップ部会、急変時対応部会、市民啓発部会）において、各専門部会でテーマ別に活動をしました。
- ・専門部会は 3 年 1 期で実施しています。令和 5 年度は 3 期目の初年度であり、初めて部会員になったかたや、多職種による参加となったため、1 年をかけ全ての部会で意見交換等を行い、目標に向けた意思統一を図りました。

【課題】

- ・各専門部会の活動が部会内や部会員の所属している職場に限られていることから、上越・妙高市全体で専門職の底上げを図るため、部会員の職能や各専門部会に所属していない職種に対しても活動を広める必要があります。
- ・医師などの医療系の専門職と介護支援専門員などの介護系の専門職では、職種によって医療面・介護面への視点が異なることから、各専門部会において多職種で意見交換を重ねることで、連携を図る必要があります。

【令和 6 年度の対応】

- ・各専門部会で具体的な活動を進めるとともに、部会に参加しない職種とも情報を供する取組みを行います。

- ・協議会の活動と妙高市の取組（妙高市介護ネットワーク、みょうこうケアフォーラム、主任ケアマネの会、地域ケア会議など）を連動させ、相互理解や多職種の連携強化を図ります。

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入退院時支援など在宅医療・介護連携が円滑に行われている割合（ケアマネジャーへのアンケート調査）	66%	67%	68%

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入退院時支援など在宅医療・介護連携が円滑に行われている割合（ケアマネジャーへのアンケート調査）	実施せず	実施せず	76%

2 地域住民への普及啓発

【評価】

- ・上越地域人生会議協議会における取組と連動し、将来、在宅医療や介護が必要なときを見据えた普及啓発（出前講座）を行う事ができました。

【課題】

- ・在宅医療や介護が必要なときをイメージし、一人ひとりが今できることについて考える機会をつくるとともに、本人や家族の心構えについて理解を促す必要があります。
- ・新型コロナ 5 類移行後、地域での出前講座の回数は増加しましたが人生会議の講座の開催は少ないため、機会を通じて啓発する必要があります。

【令和 6 年度の対応】

- ・在宅医療や介護が必要になった際に、本人や家族の心構えや、家族等に自分の意見を伝えることの大切さについて、引き続き地域に出向き啓発を行います。

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
在宅医療・介護に関する普及啓発実施回数	4 回	5 回	6 回

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
在宅医療・介護に関する普及啓発実施回数	3 回	4 回	4 回

施策3 高齢者福祉サービスの推進

1 ケア付住宅生活援助員設置事業

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
安否確認実施回数	4,250回	4,250回	4,250回

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
安否確認実施回数	3,735回	4,392回	4,392回

2 住宅改修支援事業

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住宅改修支援利用者数	2人	2人	2人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住宅改修支援利用者数	0人	0人	0人

3 高齢者冬期在宅支援事業

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
除雪支援対象世帯数	61世帯	63世帯	65世帯

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
除雪支援対象世帯数	63世帯	54世帯	53世帯

4 高齢者冬期入居支援事業

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
冬季入居支援事業利用者数	3人	3人	3人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
冬季入居支援事業利用者数	3人	－人	－人

※ひだまり荘 令和3年度でひだまり荘廃止

5 生活支援ハウス・高齢者支援ホーム

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活支援ハウス、高齢者支援ホーム 設置数	2 か所	2 か所	2 か所
生活支援ハウス、高齢者支援ホーム 入居人数	10 人	10 人	10 人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活支援ハウス、高齢者支援ホーム 設置数	2 か所	2 か所	2 か所
生活支援ハウス、高齢者支援ホーム 入居人数	10 人	12 人	13 人

※生活支援ハウス：妙高の里(居住部門)、高齢者支援ホーム：長沢いきいきホーム

6 緊急通報装置設置事業

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設置件数の維持	220 件	220 件	220 件

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設置件数の維持	195 件	186 件	168 件

7 救急医療情報キット配布事業

【評価】

- ・今年度においても、新規で対象となったかたに対し民生委員を通じてキットの配布を行いました。
- ・救急医療情報キットは、民生委員の協力により配布率は97.8%になります。

【課題】

- ・情報シートの記載内容について、記載されている情報が最新のものになっているか確認をしてもらう必要があります。

【令和6年度の対応】

- ・民生委員を通じて情報更新の必要性について周知を図りましたが、引き続き他の媒体等も含め周知を図ります。

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
配布率 (配布対象世帯に対する配布率)	90%	90%	90%

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
配布率 (配布対象世帯に対する配布率)	97.2%	97.4%	97.8%

8 介護用品(おむつ)支給事業

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数	360 人	370 人	380 人

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数	329 人	296 人	274 人

9 在宅介護ほっとサービス事業

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実利用者数 (前期+後期利用者数)	300 人	300 人	300 人

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実利用者数 (前期+後期利用者数)	196 人	188 人	165 人

10 在宅介護支援センター

目標値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
在宅介護支援センター設置数	4 か所	4 か所	4 か所

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
在宅介護支援センター設置数	4 か所	4 か所	4 か所

施策4 高齢者の住まいの確保

1 軽費老人ホーム（ケアハウス）

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
軽費老人ホーム(ケアハウス)設置数	2 か所	2 か所	2 か所
軽費老人ホーム(ケアハウス)定員数	80 人	80 人	80 人
軽費老人ホーム(ケアハウス) 妙高市民の入居人数	60 人	60 人	60 人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
軽費老人ホーム(ケアハウス)設置数	2 か所	2 か所	2 か所
軽費老人ホーム(ケアハウス)定員数	80 人	80 人	80 人
軽費老人ホーム(ケアハウス) 妙高市民の入居人数	68 人	75 人	75 人

2 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有料老人ホーム設置数	4 か所	4 か所	4 か所
有料老人ホーム定員数	78 人	78 人	78 人
サービス付き高齢者向け住宅設置数	2 か所	2 か所	2 か所
サービス付き高齢者向け住宅定員数	18 人	18 人	18 人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
有料老人ホーム設置数	4 か所	4 か所	4 か所
有料老人ホーム定員数	78 人	78 人	78 人
サービス付き高齢者向け住宅設置数	2 か所	2 か所	2 か所
サービス付き高齢者向け住宅定員数	18 人	18 人	18 人

3 経済的支援の充実

【評価】

- ・低所得のかたが安心して生活を続けていけるよう、引き続き、グループホーム入居費助成制度や介護付きケアハウス入居費助成制度により支援を行いました。

【課題】

- ・利用者が減少傾向のため、認知症を発症しても安心して生活を営めるよう、同制度を市民や介護保険事業者等に広く周知する必要があります。

- ・グループホームの入居費用が上がっており、制度を利用しても入居継続が難しいかたの相談があります。

【令和6年度の対応】

- ・引き続き支援を継続するとともに、ケアマネジャー等を通じて、制度の周知に努めます。
- ・生活保護の基準に基づき助成額が設定されていることから、基準の見直し等が行われる場合は、それに合わせて助成額を見直し支援を継続します。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
グループホーム入居費助成者数	4人	4人	4人
介護付きケアハウス入居費助成者数	2人	2人	2人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
グループホーム入居費助成者数	4人	6人	5人
介護付きケアハウス入居費助成者数	1人	1人	0人

施策5 地域ぐるみでの高齢者支援の推進

1 地域における支え合い・見守り支援の推進

【評価】

- ・妙高市社会福祉協議会や民生委員・児童委員など地域関係者と連携し、独居高齢者世帯や高齢者のみ世帯など、支援が必要な世帯の現状を把握し、地域内での孤立を防ぐための見守り活動（地域安心ネットワーク推進事業）に取り組みました。
- ・また、熱中症注意報が発令された際には、民生委員に注意喚起を依頼するとともに、市職員が独居高齢者世帯を訪問し、注意を呼びかける活動を行いました。

【課題】

- ・地域全体の高齢化が進行している地区もあり、新たな福祉協力員を探すのに時間を要するケース等が発生しています。

【令和6年度の対応】

- ・地域社会からの孤立を防ぎ、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、引き続き、地域包括支援センターや妙高市社会福祉協議会に配置している専門職（地域支援専門員）による実態把握に取り組み、必要に応じて公的サービスへつなげる支援を行います。
- ・緊急通報装置を用いた見守り支援をおこない見守り体制の強化を図ります。

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援世帯数	450世帯	470世帯	500世帯

実績値

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支援世帯数	431 世帯	391 世帯	336 世帯

施策 6 認知症施策と権利擁護の推進

【評価】

- ・ 市民公開講座及び出前講座等を開催し、地域における認知症の理解を進めることができました。
- ・ 市民公開講座参加者へのアンケート調査では、97%のかたが「講座参加前よりも認知症への理解が深まった」と回答されており認知症の理解が進みました。
- ・ 認知症初期集中支援チームは、医療機関を未受診のケースや対応が困難なケースを支援対象としていますが、医療機関を受診しているケースがほとんどであるため、医療機関への情報提供や必要なサービス調整を行うなど症状に応じた支援を行いました。
- ・ 家族の介護負担を軽減できるよう、専門職への相談や情報提供、家族の交流の場として認知症カフェを定期的で開催していますが、参加者は増えていない状況です。

【課題】

- ・ 認知症に関する相談件数が減っていることから、相談、情報提供窓口としての地域包括支援センターを広く周知する必要があります。
- ・ 地域での見守りや相談役となる認知症サポーターや認知症キャラバン・メイトを養成し、認知症のかたを地域で見守り、支えていくための地域ぐるみの支援体制づくりが求められています。
- ・ 認知症カフェの参加者が少ない状況であることから、参加しやすい環境整備や周知を工夫することで、認知症のかたや家族が参加しやすい場とする必要があります。

【令和 6 年度の対応】

- ・ 市民公開講座をはじめ各種講座により広く認知症の普及啓発を図るとともに、地域での見守り支援体制を強化するための取組として、認知症サポーターや認知症キャラバン・メイトの養成を行います。
- ・ 認知症初期集中支援チームや地域包括支援センターにおいてかかりつけ医との連携を図りながら、早期発見、早期対応により、症状に応じた社会資源の活用や関係機関との連絡・調整を行います。
- ・ 認知症のかたとその家族が、参加したいと思ったときに気軽に参加し、安心して過ごせる居場所となるよう、こころカフェを定期的で開催します。

1 認知症に対する理解の促進

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症ステップアップ講座 延べ受講者数	90 人	150 人	200 人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症ステップアップ講座 延べ受講者数	124 人	5 人	19 人

2 認知症の予防に向けた取り組みの推進

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症予防に関する講座の開催	3 回	3 回	3 回

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症予防に関する講座の開催	2 回	2 回	6 回

3 認知症支援体制の充実

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症初期集中支援チーム相談件数	100 件	100 件	100 件
認知症初期集中支援チーム支援件数	3 件	3 件	3 件

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症初期集中支援チーム相談件数	108 件	89 件	66 件
認知症初期集中支援チーム支援件数	1 件	0 件	0 件

4 本人発信と介護者への支援

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症カフェの家族介護者の参加人数	5 人	7 人	10 人

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症カフェの家族介護者の参加人数	3 人	5 人	5 人

第5章 施策の展開

6 介護保険制度の維持と円滑な運営

(1) 介護給付適正化事業の推進

①要介護認定の適正化

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認定調査項目別の比較	1回/年	1回/年	1回/年
認定調査員への研修	2回/年	2回/年	2回/年

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認定調査項目別の比較	1回/年	1回/年	回/年
認定調査員への研修	0回/年	1回/年	回/年

②ケアプランの点検

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ケアプラン点検	1回/月	1回/月	1回/月

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ケアプラン点検	0.17回/月	0.17回/月	0.08回/月

③住宅改修の点検

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住宅改修点検（訪問調査）	1回/月	1回/月	1回/月

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住宅改修点検（訪問調査）	0.25回/月	0.75回/月	0.25回/月

④福祉用具購入・貸与調査

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
福祉用具購入・貸与調査	随時	随時	随時

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
福祉用具購入・貸与調査	随時	随時	随時

⑤縦覧点検・医療情報との突合

目標値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検回数	1回/月	1回/月	1回/月

実績値

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検回数	1回/月	1回/月	1回/月